

ほっと♡ゆうばり

第12号
2008年
9月1日

編集・発行：ゆうばり再生市民会議 広報部

～子ども盆踊りを徹底取材しましたヨ～

8月14日(木) 滝ノ上地区 滝ノ上小学校グラウンド

グラウンドの中央に滝ノ上の歴史を見守ってきた櫓(やぐら)が堂々と建っていました。「電柱の廃材を利用して作ったんで、上の部分だけは今でも若いモンが縄でしばってるんだヨ、伝えていきたいことのひとつだネ」と会長さん。少し離れて行灯(あんどん)が並ぶ。滝ノ上小全児童と季節保育園園児の作品です。ろうソクに火が灯されると可愛い絵が写し出されました。(町内会で運営している)浴衣姿の子どもたちも集まり、踊りの輪ができます。



なんの絵? 「のこぎりくわがた」
これは? 「トンボとたいよう(太陽)さん」
これは? 「くるま」
「ねえ、ねえ、みて! き(木)とあめ(雨)、みず(水)が大事だから」……メロン作っている親の背中を見てるんですね。
「行灯の意味も教えたいナー」と副会長さん。校長先生もいとおそうに行灯を見守っていました。

「人口が少なくなって50数軒になったけど、どこの地域より青年が多い。町内会ニュースを月1、2回発行して自分達が楽しむことを考えている。無理なことはない。出来ることを考えると結構あるものでネ」と会長さん。
「8時になったら日本一小さな花火大会が見られますよ」滝ノ上の良い子たちと“チャンコチャンコ”“黒ダイヤばやし”をひと踊りし、後ろ髪を引かれる思いで次の地域へ移りました。

どこの地区でも子ども盆踊り“チャンコ チャンコト”が流れていました。

櫓やぐら 行灯あんどん 蠟燭ろうそく 提灯ちようちん 浴衣ゆかた

- ◎清水沢イベント広場
- ◎若菜ホームショップさとう裏
- ◎末広2丁目恵団地
- ◎本町お買い物駐車場



8月14日(木) 沼ノ沢地区 沼ノ沢駅前広場

提灯に照らされた紅白の櫓(やぐら)が目飛び込む。踊りの大きな輪は北海盆踊りです。大人に混じって子どもたちも元気に踊っています。アクリフーズに就業研修している中国女性10数名も揃いの浴衣で、上手に踊っていました。

沼ノ沢は仮装盆踊り大会です。“沼ノ沢五輪シンクロチーム”が登場、白塗りの顔が怖い? 生ビール、焼きとりなどの屋台でグイッと飲み交わすお父さんたち。「お盆で帰省の人に思い出作りをしたい。盆踊り大会は住民の寄付でやっている。寄付は全員参加で、これをしなくてもいいという人は一人もいないのサ。出来ること、沼ノ沢独自の行事を続けていきたい。古里を残したいしサ」と会長さん。
ポツポツと落ちてきた雨の中でもみんな楽しそう。

子ども盆踊り

夕張子ども盆おどり歌

藤田貞雄 作詞
外尾静子 作曲

そらた揃うた よい子の踊り
笛も太鼓も よくはずむ
うたが揃えば 心も揃い
やまに自慢の 灯がゆれる
トント足拍子 シヤシヤン
踊れしなよく身ぶりよく
ソーレンソレン トン シヤシヤン

※昭和三十三年(1957)、作詞・作曲・振付のすべてが夕張市民の手で作られたものです



浴衣の可愛いキャンディーズ(?)



ヤキトリいかがですか～



清水沢



若菜

